

中部横断自動車道 みらい会議(南牧村) 第2回 議事概要

日時 : 平成29年1月12日(木) 13:52~15:45

場所 : 南牧村役場 3F会議室

参加者 : 委員17名、オブザーバ 4名、立会人 3名

メリットの追加意見

- ・観光業者の仕入れや一般の買い物など利便性の向上につながる。
- ・人口の流出抑制につながる、南牧村は数年後3000人を割るかもしれない。通勤圏の拡大、新規就農、移住などが期待できる。
- ・配送業者の話だと、静岡県は愛知方面や関東方面から野菜を運んでいるためコストがかかっている。中部横断自動車道は非常に有益だと聞いている。

デメリット追加意見

- ・高速ができたとしても南牧の高原野菜の配送にはメリットがないと思う。配送業者の話だと、関東方面は須玉ICを使い、関西方面は小淵沢IC使うなど少しでもコストのかからない方法を選んでいる。無料であれば話が違ってくるが

ルート帯の考え方について

- ・西側がいいと思う。しかし1Kと3Kの繋ぎ目は擦り付けてルートをつなげるような柔軟な対応が必要である。極論でいえば3K中の最も西側をルートが来た場合、1K帯との擦り付けが困難である
- ・小海のルートにもよるが、西側がいいと思う。

インターチェンジについて

- ・2箇所がいいと思う。1箇所は役場付近、もう1箇所は利便性を考えて野辺山原の中心でどうか。
- ・利便性を考えれば県境付近がいいと思う。
- ・住民の利便性、立場に立って考えると3箇所あったほうがいい。
- ・2箇所とし、1箇所は役場付近、もう1箇所は野辺山原の中央ではどうか。
- ・役場付近の1箇所は両相木にも負担してもらい、もう1箇所は山梨県境付近がいいと思う。
- ・両相木に負担してもらうなら野辺山原のICは川上村にも負担してもらったらどうか。

3箇所だと負担も大きくなる。

その他意見

- ・野辺山には高速反対の声はない。ただ、ルート変更についてはいろいろな意見があり沢山耳に入ってくる。産業面のメリットで話をしていくと利害関係などで話がこじれる。是非住民の立場に立ったメリット面からのアプローチをしてほしい。
- ・今後、計画の段階で構造について村側の注文が聞き入れられるのかが心配である。
- ・今後の未来会議はオープンな形で開催してほしい。(傍聴できるよう)

取りまとめ

ルート帯の考え方について

「国道141号の西側が妥当である。」

極力、集落や優良農地を避けてほしい。

高速道路による国道の路面凍結を避けるため、国道の横断は最少にしてほしい。

インターチェンジについて

2~3箇所を要望したい。

・2箇所の場合は、野辺山原へ1箇所、南牧村役場付近で1箇所。

・3箇所の場合は、野辺山原へ2箇所、南牧村役場付近で1箇所。

2箇所は政策ICでお願いしたい。

ICは地域住民の利便性を考慮し、国道141号に近い個所としてほしい。

その他

現在示されている1キロ・ルート帯と3キロ・ルート帯の接合部については、緩やかな擦り付けによりルートが繋がるよう、柔軟な対応をお願いしたい。

道路構造にかかる意見「広い堆雪帯を確保してほしい」「土地をなるべく潰さないような工法を選定してほしい」など。